

東又小学校プール落成式を開催

6月11日、東又小学校のプール開きに合わせ、関係者ら約30名が出席し、施設の落成式が行われました。また、東又小学校保護者会の主催による餅投げも行われ、地域住民と児童と一緒に笑顔で餅投げを楽しみました。



水ケーション～森と水の授業～を開催

6月11日、新しいプールが完成した東又小学校5・6年生17名を対象に、12日には窪川小学校5年生47名を対象に、森と水の大切さを伝える授業が行われました。

森と未来代表の小野なぎささんからは森林の役割や水の大切さを、シドニーオリンピック女子競泳日本代表の萩原智子さんからはプールでの正しい泳ぎ方などを教わり、児童たちは普段当たり前で生活できているのは、森と水のおかげであること、その森と水を大切にしなければいけないことを学びました。



西庁舎駐車場(県道側)の区画を変更します

7月14日(土)～16日(祝・月)に、役場西庁舎の県道側駐車場スペースの区画整備を予定しています。これにより県道側の普通車スペースが12台から10台、軽自動車スペースが5台から4台となりますが、**一台当たりの駐車スペースが広がり、利便性・安全性が向上します。**

工事期間中は、役場駐車場ご利用の皆さまにご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。



【お問い合わせ先】総務課 ☎22-3111

タクシー会社の休業日について

須崎労働基準監督署の指導により業務改革を行い、**丸三ハイヤーが7月から第1・第3・第5日曜日が休業日**となります。なお、新生ハイヤーは、第3日曜日が休業日、窪川ハイヤーは、休業日を定めていませんので、直接お問い合わせください。

【お問い合わせ先】丸三ハイヤー ☎22-1251 新生タクシー ☎22-1135 窪川ハイヤー ☎22-1161

丸三ハイヤー …第1・第3・第5日曜日(7月から)
新生ハイヤー …第3日曜日
窪川ハイヤー …定休日なし

平成30年6月 四万十町議会 定例会 町長行政報告(要旨)

■平成29年度一般会計決算 見込みに ilişkin

平成29年度の一般会計決算見込額は、歳入総額167億8千494万円、歳出総額164億8千840万円、歳入歳出差引額は2億9千654万円となり、このうち翌年度へ繰り越すべき財源7千347万円を差し引いた実質収支額は、2億2千307万円となっています。

歳入では、町税で1億1千840万円余り増加した一方、実質的な普通交付税などが減少した結果、全体では1億3千950万円減少しています。なお、ふるさと納税は12億7千800万円余りとなっています。

また、歳出では、公債費の繰上償還などにより、全体で1億2千749万円増加しています。

町の預金にあたる積立基金残高は、ふるさと支援基金で8億3千550万円、その他で2億9千100万円、

合わせて11億2千650万円を取り崩す一方、今後の事業などに必要な財源として、ふるさと支援基金で約12億8千300万円、その他で約5億9千900万円、合わせて18億8千200万円余りを積み立てた結果、前年度の決算剰余金処分による積立と合わせて10億580万円余り増加しています。

また、町の借金にあたる町債残高は、前年度末から10億8千500万円余り減少しています。

■移住促進に ilişkin

本町では、移住促進を重要施策の一つとして取り組みを展開し、平成23年度は7組15人であった移住者数が、平成29年度には125組190人となり、一定の成果を上げているところです。

しかし、これらの移住はIターン者の割合が高く、本町のさらなる発展には、Uターン者の増加を図る効果



■文化的施設検討委員会について

本町では、文化的施設の整備を検討するため、文化的施設検討委員会を設置し、16人の委員による協議が行われています。

委員会では、町内の既存施設の現状把握、ワークショップ形式による施設のあるべき姿の検討のほか、岡山県瀬戸内市立図書館での研修も行われ、目指すべき施設のイメージが共有化されました。

また、本年度の委員会では、住民や商工会などの地域団体との総合的なまちなか活性化についての検討の必要性も協議され、文化的施設の整備にあたっては、平成30年度に基本

■小中学校の適正配置計画 について

構想、平成31年度に基本計画を策定するスケジュールの見直しが必要との結論に至っています。

このため本年度は、委員会での協議に加え、住民参加型のワークショップなどを通じて施設の理念やコンセプトを作り上げていくことにより、住民の皆さまに愛着を持って利用いただける施設整備の検討に取り組めます。

四万十町立小中学校適正配置に係る提言書の受理により協議した結果、保護者や地域の皆さまに児童生徒数の状況や適正配置に係る町の考え方を説明し、ご意見をいただくことが必要と考え、本年5月に町内8か所で地域会を開催しました。

地域会では、保育所や小・中学校の保護者をはじめ、地域の方々にもご参加いただき、多くのご意見をいただいています。

今後は、これらのご意見を参考に6月下旬には計画案を作成し、7月からの各小学校区での意見交換会のほか、公募委員などで組織する四万十町学校適正配置審議会の審議を経て、平成30年12月中の計画策定を目指します。

町民の皆さまには、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。